

# 夢窓幼稚園通信第66号

2021年 2月 26日

ちょうど1年前、国から全国の各学校への休校要請が出されました。

私たちは様子を見ながら進んだり、立ち止まったりしながらも子どもたちの過す場を続けて持つことができています。ほんとうにありがたいことです。

そして皆さまの あたたかいご理解とご協力に対して、心より感謝申し上げます。

一人ひとりの人生にも、世の中にも次々といろいろな波が時代時代にやってくるのでしょうか、どんな時にもきっと何らかの意味が込められているのでしょうか！ 今日を明日を、少しでもゆたかに過していきたいものですね。

高校生の頃に旅行で訪れた寺院の来訪者ノートに記帳されていた言葉が思い出されます。

世の中の 浮くも沈むも 苦も楽も 己の舟の楫のとりよう

さて、3月を目前にして、今年も年長の子どもたちの卒園に向けての盛りだくさんの作業が始まりました。

それらはすべて、ひとつの時代——幼な子のとき——をしめくると共に、小学校という新しい世界に旅立っていく未来に向けての前向きな営みですが、そこにはこれまでのひとつひとつの経験や思い出たちによる支えや励ましが込められていることでしょう。子どもたちにとってのこの大きな節目の時に、私たちは子どもたち一人ひとりを、まるで輝くような“思い出のアルバム”そのものだと感じるにちがいません！

齒の生え変わりの頃の子どもたちは... まさしくあの各クラスの劇あそびを存分にたのしめた、物語の世界に内的に生きられる夢の世界の住人から、静かな目覚めの時へと、壮大な展開をしようとしているのでしょうか。

年中・年少の子どもたちも、それぞれ新しい青バッヂさん・黄色バッヂさんへのメタモルフォーゼを憧れ、たのしみにはしていますが、それは

「夢みる人」としての同質に磨きをかける。グレードアップの  
変容です。  
らせんを描くような、そのくり返しの祝祭セレモニーに、私た  
ちは毎年3月に立ち合わせてもらうのだと思います。  
それに対し、年長さんの変化は、さなぎがちゆになるような大きく  
ドラマチックな変化なのではないかと。

昨日 おにぎり忍者から招待状が届きました。  
クラスの子に来るように・・・ハッピーなプレゼントが  
あるから というのです。  
タコが、いい匂いに誘われて出かけていくと、彼し  
がっていた草履が山盛りで、熱い砂浜を歩ける  
ように作って届けてくれたのです。  
タコは大喜びで「おれさま、うらうれしくて涙が  
でるぜ!」と、タコの家への入口に よろこびの印  
草履をはいて憧れの砂浜を歩けるよろこびと、忍者  
たちとともだちになれそうに気がするよろこび—に、先ずは  
飾らせてもらうことにしたのです。

劇あそびのこの例えは、継続は「思い出のアルバム」としての  
ちよびり切なさを背景にしつつ、次への成長のドラマの展開を  
予期させる、祝祭的な通過儀礼へと流れ込んでいくの  
です。

3月、ひとつひとつの心が おだやかで ゆたかで 深い  
ふかいものとして つむがれていきますように!  
そして、一人ひとりが 花の季節をよろこびいっぱい迎える  
ことができますように!

園長 弁光 泰雄

